

学校教育努力点とその推進計画

I 研究主題

豊かな心の育成

－ 「考え、交流する道徳」の授業を目指して －

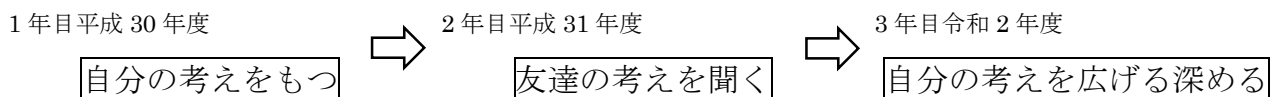
II 研究主題設定の理由

本校の児童は、相手の気持ちを十分に考えず交流することができないことが日常生活で起こる問題の一因になっており、仲間と心を通わせた交流をするための実践をより多くする必要があると考えます。そこで、本校では、自分の考えと相手の考えを交流する機会の多い「特別の教科道徳」の学習を通して、子どもの豊かな心が育つよう、研究を進めていきたい。なお、本研究においては、豊かな心は他人を思いやる心と生命や人権を尊重する心とする。今年度の研究においては、「B 主として人との関わりに関すること」や「C 主として集団や社会との関わりに関すること」の内容項目について実践を行う。

III 研究の構想

1 3年間の研究構想

3年間の研究構想については、学習指導要領を参考に以下の通り考えた。1年目は、道徳教材のよさ（道徳的価値）を十分に味わい理解することで「自分の考えをもつ」こと。2年目は、自分の考えを基に交流活動を行い、物事を多面的・多角的に考えることができるように「友達の考えを聞く」こと。3年目は、活動後の振り返りを充実させて豊かな心を育てることを目標に研究を進めようと考えた。



2 今年度の実践計画の内容

(1) カリキュラム編成について

前期に今年度から始まる教科化に対応した年間カリキュラムを各学年で編成する。
(名古屋市教育委員会の「小学校教育課程 特別の教科 道徳」を参考にする。)

(2) 評価の作成について

6月に評価検討会を各学年で行う。「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(文部科学省)や小学校・特別支援学校説明会資料「特別の教科 道徳」(名古屋市教育委員会)を参考に他人を思いやる心と生命や人権を尊重する心に関する内容項目の評価を作成する。(通知表は子どもがいか成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価を学年末に記述する。)

(3) 授業実践について

教師の考える特定の価値観を押し付けるのではなく、主体的に自分との関わりで考え、多様な考え方と出会い交流する道徳の授業実践の充実を図る。